

研究タイトル:

震度・液状化ハザードマップの作成と活用



氏名: 古本 吉倫 / FURUMOTO Yoshinori E-mail: furumoto@nagano-nct.ac.jp

職名: 教授 学位: 博士(工学)

所属学会・協会: 地盤工学会、土木学会、日本地震工学会

キーワード: 地震工学、都市防災

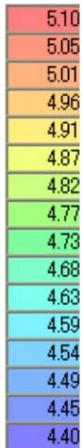
技術相談
提供可能技術:
・設計用地震動算定
・詳細震度・液状化ハザードマップの作成
・

研究内容: 震度・液状化ハザードマップの作成と活用

震度ハザードマップは、自治体における防災マップ、企業における BCP 策定の基礎資料となる他、時刻歴地震動波形は耐震設計用の入力波形として欠かせない。想定される巨大地震に対する地震動算定システムにより、シナリオ地震に基づく地震動予測を行い、自治体レベルでの詳細震度・液状化ハザードを作成する。重要構造物の耐震性評価に際し、必要となる設計用地震波形の作成も可能。

■震度ハザードマップの作成例

● 長野市若里・栗田地区近辺(信濃川断層) M7.2相当の直下型地震を想定



従来法でのハザードマップ



補間推定法でのハザードマップ

提供可能な設備・機器:

名称・型番(メーカー)

FDEL (地盤震動解析ソフト)

EMPR (強震動予測ソフト)